

読者の手紙

那賀川鉄橋の空襲を忘れず

(阿南市、河野孝子・76歳・語り継ぐ会世話人)

今日も阿南市の那賀川に架月76歳を迎えることができま
かる鉄橋から列車の渡る音がした。私が生まれた年にあつ
風に乗って聞こえてきます。たこの惨劇の歴史は、私の年
何げない日常にある音です。年齢とともに時がたつていま
が、まさに平和の音です。す。何かくしき縁があるよう

76年前の1945年7月30日、那賀川鉄橋を渡る列車が
米軍機に銃撃され、乗客ら約 月に会を開いてきました。

30人が亡くなるなどの犠牲を 市のJR阿波中島駅に集ま
出しました。その惨劇が今も り、当時近くに住んでいた方
伝えられています。私はこの から体験談を聞いたり、約10
ことを後世に伝えようと夏に 分ぐらい歩いた所にある鉄橋
なると「那賀川鉄橋列車爆撃 の弾痕や平和の碑を見学した
を語り継ぐ会」を開いてきま りする予定にしています。私
した。残してあった資料によ も高齢になり、私が世話をす
ると、初めて行ったのは20 る語り継ぐ会は、今年で最後
03年7月30日なので、今年 にしたいと思います。長い間
は19回目になります。 ご支援いただき、ありがとうございます

今までこの会を催すたびに ございました。惨劇で尊い命
たくさんの方と出会い、良い を亡くされた方のご冥福をお
ご縁に恵まれました。私も今 祈り致します。